

第13回東日本ソフトボール大会 交流試合結果 2017年9月18日

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
船橋芝山SC	5	1	1	0	1			8
RISING	1	0	0	0	0			1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
吉岡クラブ	2	0	1	2	6			11
喜多方ソフトクラブ	5	2	0	2	0			9

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
中三田球友会	2	0	3	5	0			10
RISING	0	0	3	0	2			5

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
喜多方ソフトクラブ	2	0	1	0	3			6
鰺沢ショッカーズ	0	0	0	0	1			1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
中三田球友会	0	6	0	0				6
船橋芝山SC	0	0	1	1				2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
鰺沢ショッカーズ	0	0	0	0	0	0	1	1
吉岡クラブ	0	0	0	1	4	0	/	5

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
福島ガス	0	0	1	0	2	2		5
向井	0	0	0	0	0	2		2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
パーキーズ	0	0	2	0	0	0		2
小原田ソフトクラブ	0	0	0	0	0	0		0

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
東京SC	0	0	0	1	0			1
福島ガス	3	0	3	0	2	/		8

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
静楽クラブ	0	0	0	0	0			0
小原田ソフトクラブ	0	0	1	0	0			1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
東京SC	0	1	0	1	0			2
向井	1	7	1	0	/			9

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
静楽クラブ	4	0	0	1	0	0		5
パーキーズ	0	0	2	0	0	0		2

第13回東日本ソフトボール大会を振り返って

東日本大会開催日9/17日～9/18日に大型台風18号が、開催地富士宮市を直撃するとの情報を受け、出場チームの中でも不安の声が広がった。開催初日には各チームをはじめ役員と、協賛・協力を頂いた富士宮市ソフトボール協会の皆様に集合していただき、今後の対応について話し合った。初日については中止を決定。二日目は台風が過ぎ去るのではないかと期待と、試合をやりたいとの各チームの強い思いが叶い快晴の天気となりました。霊峰富士山が雲一つない姿を現し、大きな歓声が上がりました。チームの様々な事情により12チームでの開催となり、3チームリーグ戦を組む事とした。

【迫力のある試合展開】

前年度スポーツ連盟全国大会準優勝チーム「群馬県、向井」と実力上位の「福島県、福島ガス」の戦いは全国クラスの高いレベルの試合となった、今後のスポーツ連盟へのアピールに繋がりたいとの強い思いの福島ガスが、力強さと試合運びのうまさで勝利した。初出場の「埼玉県、吉岡クラブ」はリーグ戦2勝を挙げ今後の活躍に期待感が強まった。また「神奈川県、中三田球友会」が出場常連の存在感を発揮して2連勝。「福島県、小原田ソフトクラブ」は根本投手の経験豊かなピッチングがキラリと光った。また地元「静岡県、静楽クラブ」の個性豊かな選手の活躍も見られました。どのチームも交流試合とは思えない力強くも真剣に試合を取組む姿と、戦った相手チームへのエールを送り合う姿が印象的な一日となりました。